

あそべ！ あそべ！

校長 三浦一富

1年生の生活スケッチです。「さくらひろばでおにいさん、おねえさんとたすけおにをしたよ。」とあります。子どもたちは、この1学期、本当によく外遊びをしていました。しかも、複数の学年の子ども同士が、一緒になって遊んでいます。

子どもは、遊びを通して、実に様々なことを学びます。遊びの中に、多少のトラブルは付き物です。そのような場面で、互いの言い分は主張しながらも、どこかで折り合いを付けることを学びます。

また、自分が間違っていたら素直に謝ること、そうすれば気持ちよく許してもらえることも学びます。

「ぼく(わたし)も入れて！」から、コミュニケーションが始まります。入りたいけど、モジモジしている子に、「(一緒に)入る？」と、声を掛けてあげることから、思いやりの心も育ちます。これからも、小木っ子には様々な体験の場として、「あそべ！ あそべ！」を奨励したいと思います。



佐渡人権啓発活動ネットワークを通じて、「人権の花」運動の協力校として栽培活動に取り組みました。

5月に種をまいた花が、7月に入りきれいに咲きました。(マリーゴールド、百日草、サルビアなど)

プランターに記された「おもいやりのこころ」をもって、かけがえのない **命** を大切にする小木っ子であってほしいと思います。

保護者、地域の皆様からも、子どもたちの人権意識の高揚のため、温かい見守りとご支援をお願いいたします。